

## 全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋涼の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果（6年生）が文部科学省から届きました。

つきましては、下記のとおり分析の方針と本校の結果の概要をお知らせします。

### 記

#### 1 分析の方針と公表

文部科学省および愛知県教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえると共に、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、朝日小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。

#### 2 本校の概要

国語	<p><b>おおむね満足できる状況である。</b></p> <p>全体的によく定着しており、おおむね満足できる状態である。ほとんどの出題において、正答率が国・県の正答率を上回っている。特に、学習指導要領の内容で示す「知識及び技能」のうち、言葉の特徴や使い方に関する事項について優れており、漢字を文の中で正しく使うことができている。一方、文章と図表を結び付け、目的に応じた情報を見つけることが苦手な児童もいたため、目的に照らし合わせて必要な情報かどうかを丁寧に確認しながら読み取る学習活動を行いたい。</p>
算数	<p><b>十分に満足できる状況である。</b></p> <p>全体的によく定着しており、十分満足できる状態である。ほとんどの出題において、正答率が国・県の正答率を上回っている。特に、学習指導要領の領域で示す「数と計算」が優れており、示された資料から数量の関係を式に表して計算したり、伴って変わる2つの数量の關係に着目して必要な数量を見出したりすることができた児童の割合が高かった。一方、数直線上に示された数を分数で表す問題では無解答の児童もいたため、1の目盛りに着目して分数を単位分数のいくつ分かを考える学習活動を行いたい。</p>
理科	<p><b>十分に満足できる状況である。</b></p> <p>全体的によく定着しており、十分満足できる状態である。ほとんどの出題において、正答率が国・県の正答率を上回っている。特に、学習指導要領で示す「地球」を柱とする領域が優れており、土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験方法を発想したり、他の条件での結果を予想して表現したりすることができている。一方、種子の発芽の条件に関わる問題では、無回答の児童もいたため、発芽の条件を確認し、共通点や差異点から新たな問題を見出す学習活動を行いたい。</p>
児童質問紙	<p>&lt;よい点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を毎日食べている児童が多い。</li> <li>・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。</li> <li>・人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。</li> <li>・考えを文章で説明する問題にも最後まであきらめずに取り組んだ児童が多い。</li> </ul>

<改善したい点>

- ・ 休日の勉強時間が短い傾向にあるので、家庭学習の仕方や大切さを伝え、自主学習に取り組む姿勢を育てていきたい。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと考えている児童が多い一方で、国語の勉強が好きだと答えた児童は少ない。言葉や話に興味関心をもって学習に取り組めるような手立てを考えていきたい。
- ・ 理科や科学技術に関係する職業に関心をもっている児童は3割未満である。理科で扱う事象は生活と結び付いており、よりよい生活に生かせることを伝えていきたい。